

千葉県立桜が丘特別支援学校



学校教育目標



- ◇多様な学びの機会をとおして、わかることやできることを増やし、自信を持って主体的に生きる力を育てる。
- ◇個々の障害の状態に応じて、学習や生活上の困難を改善し、将来の生活を見とおした自立的な生活を送ることができる力を育てる。

教育のコンセプト【桜が丘スピリット】

「一人は皆のために、皆は一人のために」
開校以来、一貫して“One For All, All For One”の精神で、全教職員が一人一人の児童生徒の成長・発達のための指導・支援に取り組んでいます。

授業、教材教具の工夫



体験的な活動

個に合わせた教材・教具

個に応じた3つの教育課程

オリンピック・パラリンピック教育推進



- A 課程** 小中高等学校に準じた教科による日課
 - B 課程** 下学年の学習や各教科等を合わせた指導を行う学習を中心とした日課
 - C 課程** 自立活動を中心とした日課
- ◆3つの教育課程を基本として、児童生徒の実態に応じて弾力的に日課を編成しています。



全校行事や日々の授業でオリパラについて学習するだけでなく、他校との交流学习でポッチャをしたりパラスポーツを実際に体験したりする取組を実践しています。2020年の東京オリパラの成功に向けて、児童生徒一人一人がオリパラを自分ごととして捉えられるよう学校全体で取り組んでいます。

初めての田植えはどきどき。お米の作り方がわかったよ！見て、触れて、香りをかいだりしやすいように、バケツに植えました。稲が育っていく長さを測って、「僕の身長よりも低いね」。おいしいお米になるかな？

まるいサッカーボールだと、すぐに遠くに転がってしまってなかなか難しいドリブルも、「四角い箱サッカー」ならできるよ。キックが上手になってきたら、まるいボールでのドリブルにもチャレンジだ！

学校HPへ 県立特別支援学校一覧へ



ユネスコスクール



本校は、ユネスコスクールに認定されており、「つながり」をキーワードとし、全校でESD（持続可能な開発のための教育）に取り組み、障害の有無に関係なく、共に助け合い認め合いながら生活することのできる共生社会の構築を目指しています。あいさつ運動や他校との交流学习、課程・学年を越えた学習の場の設定など、児童生徒一人一人が主体的に取り組める活動を行っています。ESDに取り組むことで、児童生徒の「伝える力」「考える力」「行動に移す力」などが育まれてきていると感じています

「通級による指導」

通学区域内の小・中学校に在籍する肢体不自由のある児童生徒に対し、障害の改善・克服を目的とした指導・支援を行っています。
通級のスタイルとしては、
①在籍校から桜が丘に通う「来校による通級」
②桜が丘の担当が在籍校に向く「巡回による通級」
相談の上、どちらかのスタイルを選ぶことができます。※詳しくはHPをご覧ください。

ICT活用



理科の授業での観察や実験では生徒の身体の状態に応じて、デジタル顕微鏡やタブレットPCなどのICTを活用しています。



電話	043-231-1449
FAX	046-231-3069
学部	小学部・中学部・高等部
寄宿舎の有無	寄宿舎があり 現在21名が入舎
障害種	肢体不自由
交通	<JR千葉駅> 京成バス⑧番 ほうじろ台 經由千城台車庫行き 「桜木消防署」下車 徒歩10分